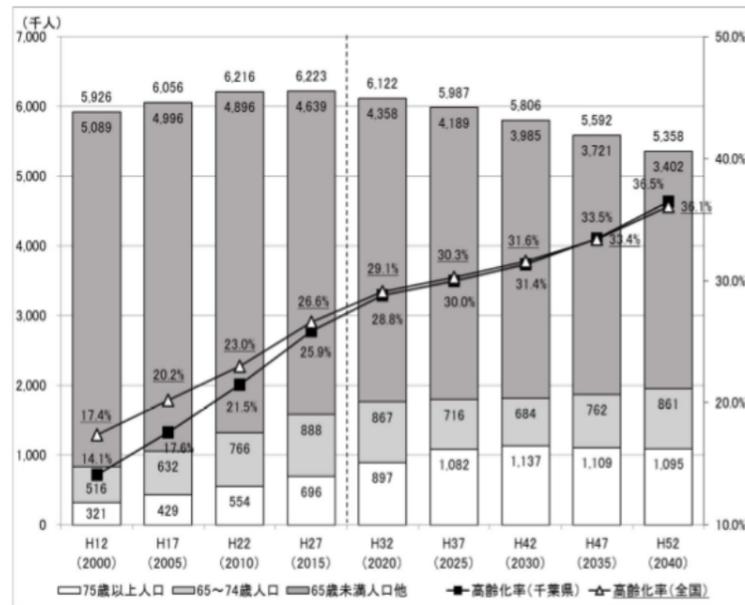


千葉県の現状 ~各種統計調査の結果から~

1 将来推計人口と急速な高齢化

○平成27年から平成37年までの65歳以上人口の増加率は全国第5位、75歳以上人口の増加率は全国第1位となることが見込まれています。

図1 人口の推移及び将来推計（千葉県）



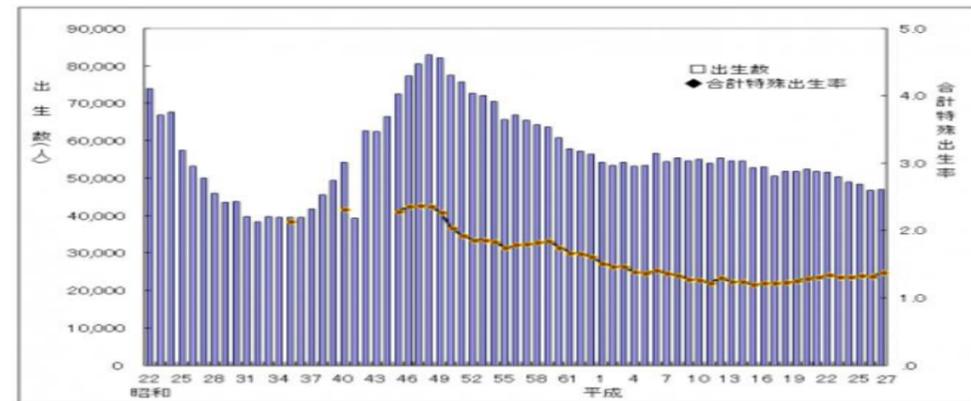
※平成27年(2015年)以前は総務省統計局「国勢調査結果」による実績値。平成32年(2020年)～平成52年(2040年)は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成26年3月推計)」による推計値。高齢化率は、年齢不詳を除く総人口に占める割合。

出典：千葉県高齢者保健福祉計画（H30～32年度）素案（案）
※今後の策定作業の中で変更となる場合があります。

2 少子化の現状

○平成27年の出生率（人口千対）7.7（全国8.0）、合計特殊出生率1.38（全国1.45）と全国を下回っています。

図2 出生数、合計特殊出生率の推移（千葉県）

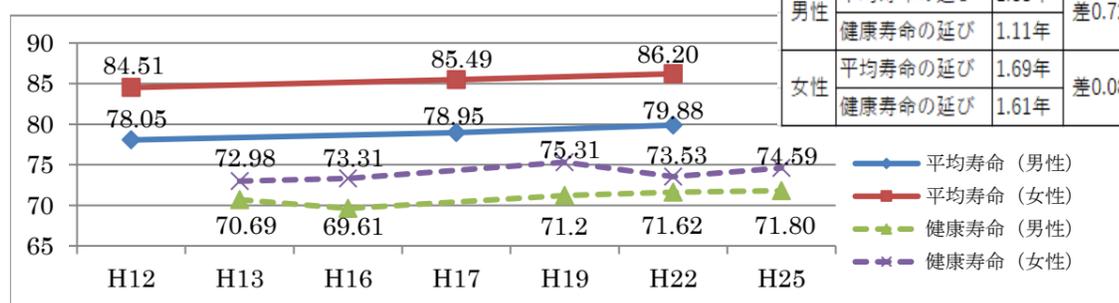


出典：平成27年人口動態統計の概況（確定数）

4 平均寿命と健康寿命

○平均寿命と健康寿命はともに延伸していますが、男女とも健康寿命の伸びが平均寿命の伸びに近づいているものの、現状では下回っています。

図4 平均寿命と健康寿命の推移（千葉県）

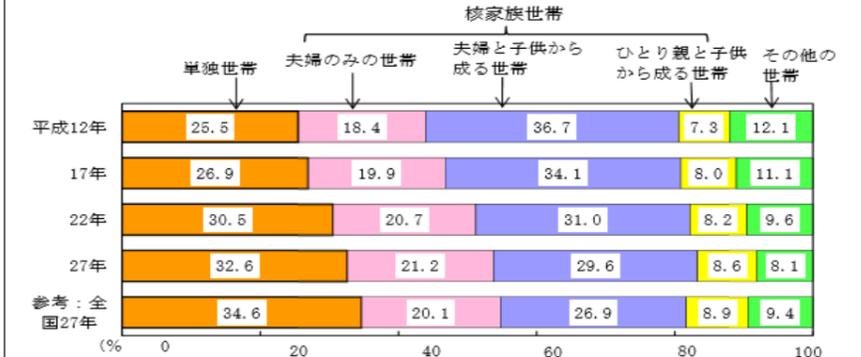


出典：平均寿命「都道府県生命表」、健康寿命「厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書」

3 世帯構成の変化

○全国と同様に、単身世帯・核家族世帯が増加しています。

図3 一般世帯の家族類型別割合の推移（千葉県と全国の比較）

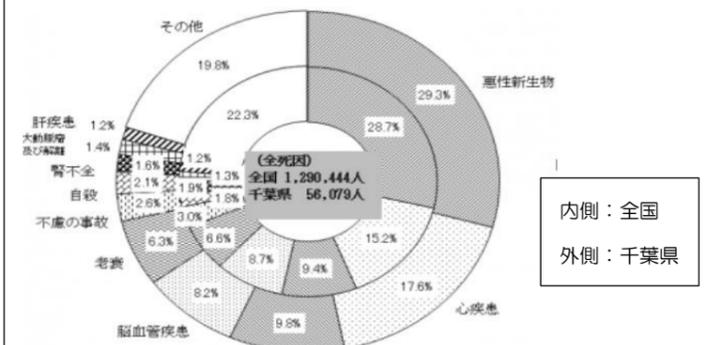


出典：平成27年国勢調査 人口等基本集計結果の概要（千葉県版）

5 主な死因

○千葉県では、心疾患の割合が高くなっています。

図5 死因別死亡割合（千葉県と全国の比較）



出典：平成27年人口動態統計

6 疾患別の年齢調整死亡率

○千葉県では、男女とも心疾患の年齢調整死亡率が高い状況にあります。

表1 疾患別年齢調整死亡率（千葉県と全国の比較）

	悪性新生物		肺の悪性新生物		胃の悪性新生物		大腸の悪性新生物		心疾患		急性心筋梗塞		脳血管疾患		脳梗塞																	
	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位																
千葉	159.3	37	85.1	28	36.0	44	11.5	14	23.2	19	8.6	22	20.9	20	11.2	30	81.0	1	41.3	3	17.3	21	6.5	21	35.9	31	21.7	20	17.7	27	9.7	21
全国	165.3	①	87.7	①	39.2	①	11.1	①	22.9	①	8.3	①	21.0	①	12.1	①	65.4	②	34.2	②	16.2	①	6.1	①	37.8	④	21.0	④	18.1	①	9.3	①

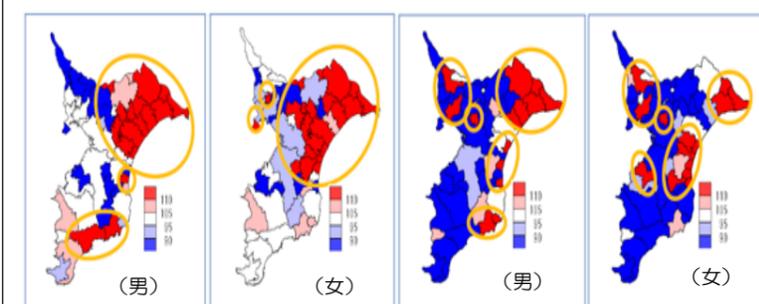
	肺炎		不慮の事故		自殺		腎不全		慢性閉塞性肺疾患		肝疾患		糖尿病		老衰		大動脈瘤及び解離																			
	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位	率	順位																		
千葉	38.9	24	18.2	10	16.7	44	7.4	38	23.3	29	9.5	11	6.7	37	3.2	45	6.2	46	0.8	34	8.0	40	2.9	38	4.8	34	2.9	27	10.5	20	15.0	15	6.8	17	3.5	18
全国	38.3	③	15.8	⑤	19.3	⑤	8.0	⑥	23.0	⑦	8.9	⑦	7.3	⑧	4.0	⑦	7.5	⑧	1.1	⑧	9.8	⑩	3.5	⑤	5.5	⑤	2.5	⑥	10.1	⑥	13.4	③	6.4	③	3.3	③

※ 全国の順位の丸数字は、「平成27年人口動態統計（確定数）」における性別にみた各死因に係る粗死亡率の高率順（第10位まで）
出典：平成27年人口動態特殊統計

7 県内市町村の死亡状況

○県内市町村の死因ごとにも地域差が見られています。

図6 県内市町村死亡状況の比較（平成20～24年値）



脳血管疾患標準化死亡比
急性心筋梗塞標準化死亡比
出典：平成28年7月「千葉県健康格差分析事業報告書」

参考：介護が必要となった主な原因（全国）

○要支援者では、運動器障害（ロコモティブシンドローム）と高齢による衰弱（フレイル）が約半数を占めています。

表2 介護が必要となった主な原因（全国）
単位：%

	1位	2位	3位
総数	認知症	18 脳血管疾患(脳卒中)	16.6 高齢による衰弱
要支援者	関節疾患	17.2 高齢による衰弱	16.2 骨折・転倒
要介護者	認知症	24.8 脳血管疾患(脳卒中)	18.4 高齢による衰弱

※ 熊本県を除いたもの
出典：平成28年国民生活基礎調査